

2022 年度

子どもセンターまあち

# 事業報告集

# 子どもセンターまあち

子どもセンターまあちは、町田市子どもセンターの5号館として  
2016年4月30日にオープンしました。

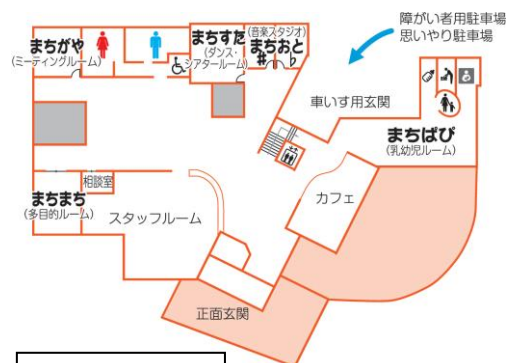
まあちは、子どもの「遊びの拠点」「成長・発達の拠点」「子育て支援の拠点」となり、  
まちだの子どもたちの居場所として、また、「まちだ」と「ちるどれん」をつなぐ  
場所になるようにと願いがこめられています。

「ま」ちだて「あ」そぼう「ち」ゃれんじしよう！



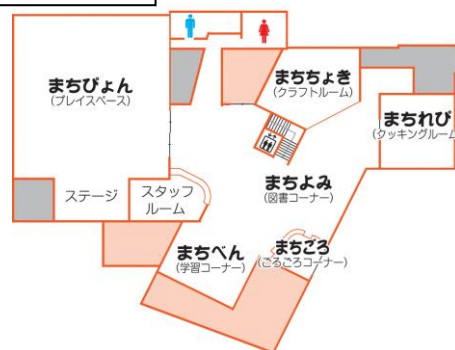
## <施設プロフィール>

住所	町田市中町1丁目31番22号
電話番号	042-794-7360
FAX番号	042-729-0234
建物構造	鉄筋コンクリート造 地上2階建
延床面積	2018.49㎡
敷地面積	2266.64㎡
開館日	2016年4月30日



1階フロア図

2階フロア図

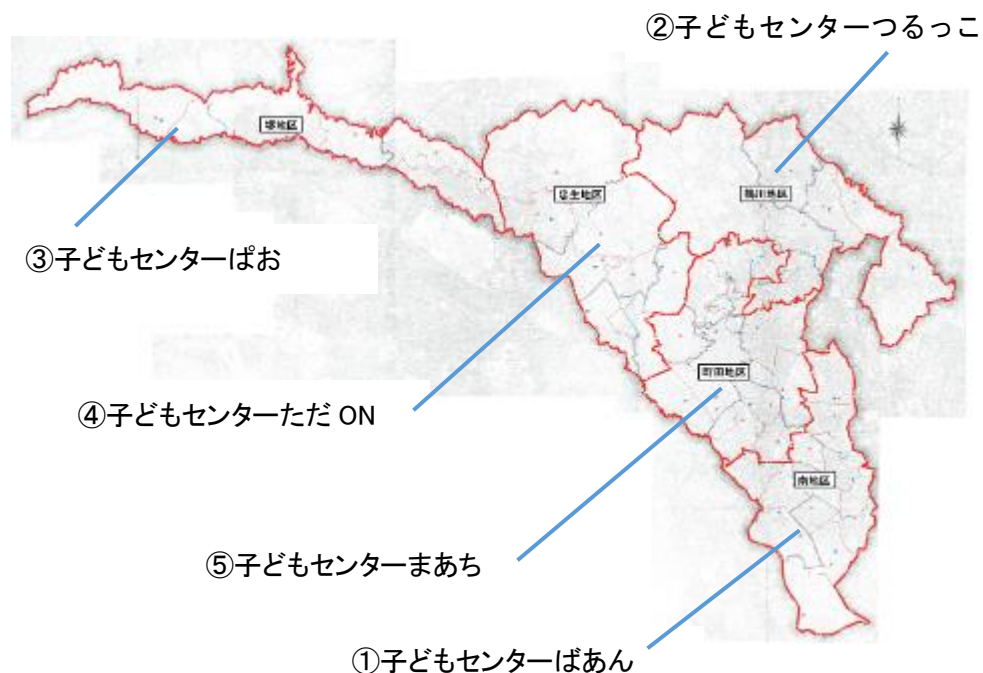


町田市では、「町田市子どもセンター基本構想」に基づき、南・鶴川・堺・忠生・町田の5地区に子どもセンターを整備し終えた。2016年4月に5館目のまあちが町田地区に開館し、5館すべての子どもセンターがオープンを果たした。

子どもセンターの建設に際しては、地域住民の代表、関係機関および団体の代表、そして有識者からなる「基本計画検討委員会」を設置し、「立地条件」「コンセプト」「主要諸室」等の検討結果を基に基本計画を策定している。そのことにより、それぞれ地域特性や地域住民の意見を反映した、特色ある子どもセンターが整備されている。

また、各地域の青少年健全育成地区委員会を中心とした「運営準備委員会」が、建設準備段階から関わり、協働して整備を進めていることが特徴である。

「子ども委員会」は開館後も引き続き活動し、館のルール作りやイベントの企画・運営等、主体的に子どもセンターの運営に関わっている。



開館年	子どもセンター名/開館日	地区
1999	①子どもセンターばあん開館 5/5	南地区
2005	②子どもセンターつるっこ開館 4/17	鶴川地区
2009	③子どもセンターぱお開館 4/5	堺地区
2014	④子どもセンターただON開館 1/26	忠生地区
2015	子どもセンターぱお分館開館 12/24	堺地区
2016	⑤子どもセンターまあち開館 4/30	町田地区

## 町田市「子どもセンター」年表

全=全体に関わること、ば=ばあんに関わること、つ=つるっこに関わること、ぱ=ぱおに関わること、た=ただ ON に関わること、ま=まあちに関わること

- 全 1994年 10月 ● 子どもセンターを所管する部署として青少年課を新設 [1日]
- 全 1995年 5月 ● 町田市子どもセンター建設計画検討委員会が発足
- 全 1996年 3月 ● 建設計画検討委員会より「町田市子どもセンター（仮称）のあり方について」の答申がなされ、市はこれを基本構想とし各地域（旧5ヶ町村）に建設すべく準備を始める。（町田市子どもセンター五館構想） [28日]
- 全 1996年 5月 ● 【子ども元年開幕】 “町田市子ども憲章” 制定  
町田市青少年健全育成都市宣言30周年記念イベント実施 [11日]
- 全 1996年 10月 ● 青少年課内 子どもセンタープロジェクト 設置
- ば 1997年 12月 ● 「子どもセンター1号館」建設計画を議会にて承認
- ば 1998年 1月 ● （仮称）「子どもセンター1号館」新築工事着工 [24日]
- ば 1998年 4月 ● （仮称）「子どもセンター1号館」運営準備委員会発足 [18日]
- ば 1998年 5月 ● （仮称）「子どもセンター1号館」子ども委員会発足 [16日]
- 6月 ● 第1回中高生委員会 [27日]
- ば 1998年 7月 ● 子どもセンター色彩計画 [17日]  
※子ども達の本来の遊び場である“自然”を連想させる“森”のイメージをコンセプトに配色。ポイントごとに淡いブルー（海・空）オレンジ（太陽）を配することにより視覚的な変化で、高揚感をあおるとともに楽しさを予感させる色彩計画となった
- ば 1998年 7月 ● 運営準備委員会が組織化される。それにともない専門部会活動始める [18日]
- ば 1998年 11月 ● 中高生の意見を聞く会 実施 [8日]
- ば 1998年 12月 ● 建設現場見学会後中高生委員会開催。館名・各部屋の名前・ロゴマーク原案決める [12日]
- ば 1998年 12月 ● 名前・ロゴマーク選考委員会開催。中高生委員会の選考作品に正式決定 [19日]
- ば 1999年 1月 ● 名称「子どもセンターばあん」及びロゴマークが発表される [16日]  
子ども委員会開館時間午前10時～午後9時までについて検討
- ば 1999年 3月 ● 町田市子どもセンター条例 市議会に上程  
夜間開館について職員をつけることが付帯され議決

- ば 1999年 3月 ● 子どもセンターばあん竣工 [24日]
- ば 1999年 5月 ● 子どもセンター1号館「ばあん」が南地区にオープン [5日]
- つ 2001年 9月 ● 鶴川三地区の青少年健全育成地区委員会を母体として「準備委員会」発足
- ば 2001年 ● 市政懇談会で3号館として相原に子どもセンターの建設を要望
- つ 2002年 1月 ● 鶴川中学校跡地に建設地が確定
- つ 2002年 5月 ● 「鶴川子どもセンター検討委員会」発足
- つ 2002年 6月 ● (仮称)鶴川子どもセンター「子ども準備委員会」発足
- ば 2003年 ● 相原子どもセンター誘致委員会を「相原子どもセンター運営準備委員会」に改称
- つ 2004年 1月 ● (仮称)「鶴川子どもセンター」新築工事着工
- つ 2004年 12月 ● 「子どもセンターつるっこ」と名称が正式決定
- ば 2004年 ● (仮称)相原子どもセンター基本構想検討
- つ 2005年 3月 ● 子どもセンターつるっこ竣工
- つ 2005年 4月 ● 子どもセンター2号館「つるっこ」が鶴川地区にオープン [17日]
- た 2006年 6月 ● 地元関係者(忠生第一地区から第六地区までの青少年健全育成地区委員会、青少年委員、忠生地区の小中学校PTA、町内会等)により(仮称)忠生地区子どもセンター建設準備委員会発足。
- ば 2007年 ● 2005年に発覚した構造計算書偽造問題(姉歯事件、耐震偽装)を受けて、2006年に建築基準法の改正があったため、構造について再計算を行わなければならないとなり、工事着工が半年延期されることとなる。
- ば 2008年 1月 ● (仮称)「相原子どもセンター」新築工事着工 [31日]
- ば 2008年 12月 ● 「子どもセンターばお」と名称が正式決定
- ば 2009年 2月 ● 子どもセンターばお 竣工 [27日]
- ば 2009年 4月 ● 子どもセンター3号館「ばお」が堺地区にオープン [5日]
- た 2009年 11月 ● (仮称)忠生地区子どもセンター基本計画検討委員会発足。
- た 2010年 10月 ● (仮称)忠生地区子どもセンター基本計画(案)をまとめる。
- た 2011年 4月 ● 「T・H・D!!!」(子ども委員会)発足。  
(「T・H・D!!!」とは「ともだち・ひやくにん・できるかな」の略。3つの!!!は「こども・おとな・ちいき」を表現)
- ま 2011年 7月 ● (仮称)町田地区子どもセンター建設準備委員会発足
- ま 2012年 10月 ● (仮称)町田地区子どもセンター基本計画検討委員会
- た 2012年 11月 ● (仮称)「忠生地区子どもセンター」新築工事着工

- ま 2013年 1月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター子ども委員会発足
- ま 2013年 2月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター基本計画検討委員会の中間報告を踏まえ、建設地が決定。
- ま 2013年 3月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター基本計画(案)をまとめる。同年5月に策定。
- た 2013年 7月 ● 「子どもセンターただON」と名称が正式決定
- ま 2013年 8月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター基本・実施設計を開始。
- た 2014年 1月 ● 子どもセンターただON 竣工
- た 2014年 1月 ● 子どもセンター4号館「ただON」が忠生地区にオープン [26日]
- ま 2014年 12月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター着工 [22日]
- ま 2015年 12月 ● 「子どもセンターまあち」と名称が正式決定
- ぱ 2015年 12月 ● 「子どもセンターばお分館 WAAAO」が堺地区にオープン [24日]
- ま 2016年 2月 ● 子どもセンターまあち 竣工 [12日]
- ま 2016年 4月 ● 子どもセンター5号館「まあち」が町田地区にオープン [30日]

## 2022年度 子どもセンターまあち利用者集計

	乳幼児	小学生	中学生～18才	保護者	見学・視察	合計	(参考)前年度	前年度比	開館日数
4月	1,936	1,314	2,645	2,057	203	8,155	5,502	48%	25
5月	1,830	1,190	1,894	2,093	76	7,083	3,428	107%	24
6月	2,155	1,504	1,709	2,402	78	7,848	6,195	27%	26
7月	2,150	1,679	2,274	2,378	89	8,570	8,032	7%	26
8月	2,039	1,406	1,994	2,320	110	7,869	8,034	-2%	25
9月	2,156	1,489	1,619	2,373	122	7,759	6,939	12%	24
10月	2,568	1,794	1,817	2,775	141	9,095	8,313	9%	26
11月	2,155	1,460	1,539	2,289	112	7,555	7,766	-3%	23
12月	2,024	1,192	1,478	2,162	101	6,957	8,558	-19%	23
1月	2,265	1,153	1,281	2,435	63	7,197	6,175	17%	22
2月	2,625	1,331	1,841	2,765	123	8,685	5,832	49%	22
3月	3,196	2,027	2,383	3,231	138	10,975	8,352	31%	27
合計	27,099	17,539	22,474	29,280	1,356	97,748	83,126	18%	293
(参考)前年度	21,867	15,946	20,902	23,153	1,258	83,126			
前年度比	24%	10%	8%	26%	8%	18%			

## 2022年度 子どもセンターまあち 事業実績

### 〈1〉子育て支援事業

#### 【定期事業】

＜自由参加＞	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
まちぴょんキッズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お家ではできない遊びや工作など色々な経験を楽しむ場となる。</li> <li>・年齢の近い子どもや保護者が他の親子と交流を楽しむ場、情報交換の場となる。</li> </ul>	親子体操 ふれあい遊び 身体遊び 工作 おはなし 交流など	1歳以上の幼児とその保護者 ※当日先着30組程度	毎週金曜日 (学校長期休業日を除く) 午前10時45分～11時15分	34回	868組 1809名	親子で様々な活動を楽しみながら、たくさんの親子で楽しさを共有する姿があった。また、年齢の近い子どもの集団で遊ぶことで、保育園・幼稚園に向けて集団で遊ぶことの練習にもなっていた。保護者にとっても、プログラムを楽しみリフレッシュする時間になっていた。
ぶれびょんベビー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てスタート期の0歳児の保護者の方が、まあちに来館するきっかけとなる。</li> <li>・ふれあい遊びやおはなしなど、赤ちゃんとのふれあいを楽しむ場となる。</li> <li>・保護者同士の交流を通じて、お友達作り、情報交換、子育ての悩みを共有・解消する機会となる。</li> </ul>	自由遊び ふれあい遊び おへんじはーい 赤ちゃん体操 おはなし 交流など	0歳児とその保護者 ※当日先着35組程度	毎月第3水曜日 午前10時45分～11時30分	10回	241組 481名	赤ちゃんと保護者方が様々な活動を楽しんでいた。交流の時間では、保護者同士のおしゃべりが毎回とても盛り上がり、情報交換や交流が活発に行われていた。足形アートも毎回とても好評だった。イベントを機にママ友になる方もいて、子育てをする保護者が繋がる場にもなっていた。
サタデーキッズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日に催すことで、父親の参加や家族での参加を促す。</li> <li>・親子で楽しめる遊びや季節の行事などを提供し子育てに役立ててもらおう。</li> <li>・平日には参加が難しい幼稚園へ通っている子どもや仕事のある保護者へプログラム参加の提供を行いまあちへの来館を促す。</li> </ul>	自由遊び(はじめの30分) 親子体操 ふれあい遊び 体遊び 工作 おはなし	1歳以上の幼児とその保護者 ※当日先着25組程度	月1回土曜日(8月を除く) 午前10時30分～11時30分	11回	350組 786名	平日のプログラムとはメンバーも異なり、父親の参加や家族そろっての参加がみられる。今年度から雰囲気を変えてダイナミックに楽しむに一新したことから、リピーターが増え参加者の年齢層も幼児が増えた。また保護者も自ら楽しもうとする姿がみられ、家族でのコミュニケーションの場になった。
まあちママの会(MAMAMO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が親子で楽しめるイベントを企画・実施することにより、より子育てにやりがいや達成感を感じる場、自己実現の場となる。</li> <li>・活動を通して保護者同士が交流を深め、子育てをする仲間としての絆を深める。また、情報交換や悩みの解消などに繋げる。</li> </ul>	まあちを利用している保護者の視点で、親子で楽しめる企画を考え、実現する。 保護者の交流・子育てに関する情報交換を行う。	まあちを利用している保護者	月1～2回 午前10時～11時30分	19回	102組 205名	保育園・幼稚園入園に伴い年度初めは少ない人数でのスタートであったが、参加メンバーはとても意欲的で、イベントの企画・実施、MAMAMO新聞の発行、フォトブース設置・参加者同士の交流と、意欲的に楽しみながら活動を行っていた。参加メンバーの勧誘などで次第に参加者の増員に繋がった。



<p>【地域協力者事業】 おなはし・ぼん！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で絵本に触れるきっかけとなる。</li> <li>・親子で絵本やわらべ歌遊びを楽しむ。</li> <li>・地域の方の活躍の場・地域の親子と繋がる場となる。</li> </ul>	<p>絵本や紙芝居の読み聞かせ、わらべうた遊びなど。 図書館ではおはなしボランティアをしている地域の方がグループを作り活動している。</p>	<p>未就学児とその保護者 ※当日先着15組程度</p>	<p>毎月 第1水曜日 午前10時30分～11時</p>	<p>11回</p>	<p>143組 303名</p>	<p>小さいうちから絵本などに触れさせたいと考える保護者が多く、0歳児親子の参加も多い。お話の間のふれあい遊びも好評で毎回参加者が多かった。保護者の方が読み聞かせや絵本について学ぶ機会にもなっている。また地域の方の活躍に場が繋がっている。</p>
<p>【地域協力者事業】 Let'sエクササイズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保護者の方(講師)が、地域で活躍する場、地域で活躍するきっかけとなる。</li> <li>・参加する保護者の方が楽しみ、リフレッシュの場となる。</li> </ul>	<p>ストレッチからはじまり、ラテンのリズムにのったエクササイズを行う。 手作りマラカスを使用したり、子どもになじみのある音楽を使い、親子でできるエクササイズも、一部ある。</p>	<p>1歳以上のお子さんとその保護者 ※当日先着25組程度</p>	<p>奇数月・第3木曜日 午前11時～11時30分</p>	<p>6回</p>	<p>88組 183名</p>	<p>参加者は、リピーター・初めての方と様々。みなさん子どもを見守りながら、楽しく参加しており、マラカスをもってママと一緒に楽しむ子どももいた。お子さんが飽きてしまうと抱っこしながら参加する方もいた。子連れで保護者の方が身体を動かしてリフレッシュを図れる貴重な機会として、保護者の満足度が高かった。</p>
<p>【町田市立図書館共催】 まあちでだっこのおはなし会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の図書館と連携し、乳幼児とその保護者が本にふれる場を提供する。</li> </ul>	<p>絵本の読み聞かせ わらべうた ふれあい遊び 図書館利用券作成(子どものみ)</p>	<p>0～2歳までの乳幼児とその保護者 ※当日先着15組</p>	<p>4/28(木) 6/23(木) 10/27(木) 2/16(木) 午前10時45分～11時30分</p>	<p>4回</p>	<p>57組 116名</p>	<p>新型コロナウイルス感染症のため、本の貸し出しや閲覧については、感染予防のため今年度はとりやめる。1歳前後の子どもが多く、子どもの絵本への最初の導入や保護者の絵本の選び方などの参考になっている。お子さんのカードも作成できるので、図書館の紹介にもつながっている。</p>
<p>ちゃれんじCOOK!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児親子や子ども達が気軽に、かつ簡単に作ることを楽しめる機会を提供する。</li> <li>・将来的には、地域の方が力を活かせる場としていく。</li> </ul>	<p>【クッキー作り体験】 購入生地を用いたクッキーの型抜きや飾りつけ ※夏のみ、簡単ゼリーづくり</p>	<p>どなたでも</p>	<p>7/28(木) 午後2時～4時 11/28(月) 12/15(木) 1/15(日) 2/23(木・祝) 3/13(月) 午前10時30分～正午</p>	<p>6回</p>	<p>158組 350名</p>	<p>新型コロナウイルス感染症のため中止していたが、夏以降から開催。 親子でコミュニケーションをとりながら、生地をのばす、型で抜く、飾りを楽しむなど年齢ごとに異なる作業に取り組んでいた。完成時の喜びも様々で、気軽さや、手軽に自分で作ったものを食べる体験ができる場となった。</p>

【不定期事業】

＜自由参加＞	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
「ぐん・ぐん・グーン！」 ～ちびっこすくすく相談DAY～	・保護者の方へ、子育てや自分自身について、身近な場所で相談をする機会を提供する。	身体測定・子育てや保護者についての個別相談 (相談者：保健師・看護師・保育士・栄養士・助産師・歯科衛生士)  共催：保健所保健予防課母子保健係・町田地域子育て相談センター	生後2か月～未就学とその保護者	①5/23(月) 午前10時30分～11時30分 ②10/31(月) 午前10時15分～11時30分	2回	84組 168名	・参加者のほとんどが市内在住の方だった。現在他の場所では予約制で行っているそうだが、予約不要だったためか、参加者が多く盛況であった。また複数のブースを回る方が多かった。保護者の方が、子育てに関する悩みや疑問を解決する機会となった。また、事業をきっかけにまあちに来館する方もいた。
【町田地域子育て相談センター共催】 乳幼児さん向け水遊び	・乳幼児さんがはじめて水遊びに親しむ機会を提供する。	スプリンクラーでの放水 水着ではなく普段着で参加し、着替え持参	未就学児とその保護者	8/1(月) 8/8(月) 8/15(月) 8/22(月) ①午前10時30分～11時 ②午前11時30分～正午 ※各回当日先着20組程度	8回	196組 442名	新型コロナウイルス感染症及び安全対策のため、2回に分け、定員制での実施に変更した。0歳から5歳まで幅広い年齢の子どもたちが参加していたが、噴水の高い方・低い方と、うまくすみ分けながら実施をした。参加した親子にとっても喜ばれ好評だった。0歳児の参加も多く初めての水遊び体験の場となった。また夏ならではの水遊びを親子で楽しむ機会となった。
【まあちママの会主催】 みんなでわいわいおしゃべり会	・参加する保護者が、気分転換やストレス解消、ちょっとしたことをママ会メンバーや他の参加者に質問・相談したり、情報交換をする場となる。 ・イベントを通してママ会について知ってもらう。また、新規メンバーの獲得を目指す。 ・イベントの企画・実施の過程で、ママ会メンバーが喜びや達成感を感じる機会となる。またメンバーの結束を深める。	・年齢別のグループに分かれ、各グループにママ会メンバーが入り、参加者とおしゃべりしながら、情報交換やちょっとした悩み相談などをする。(時間内出入り自由) ・希望する参加者に、本人の携帯で、親子のスナップ写真を撮影する。	未就学児とその保護者	9/8(木) 午前10時30分～11時30分	1回	21組 44名	雨が降りそうな不安定な天気だったが、イベント開始前から参加者が集まり始め、開始時には受付に長い行列ができた。開始後も次々と参加者があり、会場いっぱい。年齢別4つのテーブルに分かれて、グループ毎に会話がとても盛り上がり、ほとんどの方が終了時間まで参加されていた。参加者にとって、保護者同士でのおしゃべりや情報交換を楽しむ場になった。またママ会メンバーにとっては、企画が成功した達成感を得て、仲間の結束を深める機会となった。参加者からママ会新規加入に繋がった。

<p>【地域協力事業】 防災イベント あそぼーさい</p>	<p>・保護者が防災イベントに興味を持つきっかけとして行う。 ・ボランティアとして参加する高校生が自分の企画を実施することで、子どもとかかわる楽しさや、難しさを感じられるようにする。</p>	<p>高校生による手遊びやゲーム ペープサートによる音楽劇 消防士によるデモンストレーション と防災の啓発</p>	<p>1歳以上の幼児と保護者 ※25組(先着順)</p>	<p>9/23(金・祝) 午前10時30分～11時30分</p>	<p>1回</p>	<p>25組 60名</p>	<p>高校生がゲームの進行などを行ったことで、参加者からはいつもと違った雰囲気を楽しそうにしていた。消防士がパフォーマンスしたことでまなぼ～さいにもつながり、参加者の防災意識にもつながった。また、高校生にとっても子どもたちとかかわる中で楽しさを感じ自信が持てる機会となった。</p>
<p>【まあちママの会主催】 クリスマスフォトブース&amp;手形足形とちやおう</p>	<p>・参加する親子にクリスマスならではのイベントを楽しんでもらう。また、ママ会について知ってもらう機会となる。また新規メンバーの加入を目指す。 ・イベントを通し、まあちママの会メンバーと参加者がふれあい交流し、親子の繋がりが広がるきっかけとなる。 ・イベントの準備・実施の過程でメンバー同士が楽しみながら協力し合い、結束を深める。また、喜びや達成感を感じる機会となる。</p>	<p>クリスマスの装飾をしたフォトブースと手形足形コーナーを設置し、時間内自由に参加する。</p>	<p>未就学児とその保護者</p>	<p>12/19(月) 午前10時30分～11時30分 ※時間内いつでも</p>	<p>1回</p>	<p>57組 119名</p>	<p>フォトブース・手形足形コーナーは時々人が途切れる時間もあつたが、シール・お絵描きコーナーは時間がかかるため、常に利用があつた。とても多くの参加があり、参加した親子がママ会のメンバーと交流しながら、親子でイベントを楽しむ機会となった。またママ会メンバーにとって、イベントの企画から実施までをメンバーと協力しながら楽しみ、地域の中で活躍し、力を発揮する機会となった。</p>
<p>【町田地域子育て相談センター共催】 キッズサンデー</p>	<p>・中高生と乳幼児親子の異年齢交流の促進に繋げる。 ・中高生のやってみたいことを実現する機会を作り、両センターが支援することで、専門性を活かした子どもの参画に繋げる。 ・乳幼児親子がふだん接点のない中高生と交流し、異年齢との関わりを持つことで、乳幼児親子と中高生が繋がる機会とする。</p>	<p>・乳幼児親子と中高生のふれあいイベントの企画、準備、実施。 ・子どもやイベント企画の興味のある中高生を募集、集まったメンバーでイベントを企画。 ・体操、交流、障害物競争、おはなし、パラバルーン、アンケート 共催：町田地域子育て相談センター</p>	<p>2歳～未就学の幼児とその保護者</p>	<p>2/19(日) 午前10時45分～11時45分</p>	<p>1回</p>	<p>43名</p>	<p>高校生12名が10時に集まり、リハーサル・準備・役割分担を行い、イベントを行った。兄弟児の参加も多く、高校生企画の遊びや交流を楽しんでいた。当日参加の高校生が乳幼児との交流に楽しかったなどの感想をあげる中、準備の話し合いから参加していた高校生2名は、企画が形になったことへの達成感なども感想として挙げており、子どもの参画へとつながった。</p>

<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
【町田地域子育て相談センター共催】 パパと遊ぼう！	・父と子の関わりのレパトリーを増やすきっかけを作り、父親の育児参加を促すと共に、地域の父親同士の交流を深める。	(パパ・子プログラム) 親子体操 ふれあい遊び 自己紹介 交流 (ママプログラム) おしゃべり (全員プログラム) おはなし  共催：町田地域子育て相談センター	0～2歳までの乳幼児とその父親 (母親自由参加) ※30組(申込順)	①6/4(土) ②11/5(土) ③3/4(土) 午前10時30分～11時30分	無料	40組 103名	昨年度参加者が多く、入れなかった方もいたため、今年度は先着順ではなく、申込み制にするが、当日まで定員が埋まらず、当日参加制というのは、乳幼児の親子にとって参加しやすい形態だと思われる。パパたちの交流に時間をとり、リーダーシップをとってくれるパパもいたり、育児のこと子どものことで交流を深めていた。
育児講座 「保育園・幼稚園等の選び方講座」	・保護者の方に様々な選択肢があることを理解してもらい、正しい情報を知らせ不安を取り除く。 ・そのご家庭や子どもに適した保育園選びのサポート。 ・町田市の保育コンシェルジュの紹介。	・町田市の保育園や認定子ども園の入所に関する事。 ・入所できなかった場合について。 ・質疑応答や個別相談の時間あり。  講師：町田市保育幼稚園課保育コンシェルジュ	町田市在住、第1子またはお子さんを初めて保育施設に預けたい方 ※25名(申込順)	6/16(木) 午前10時30分～正午	無料	22組 44名	前半の1時間はスクリーンと資料を用いての説明、後半30分は質疑応答を行った。質疑応答でたくさん質問があり、より詳しく、保護者の知りたい情報について知らせることができていた。 1歳以上のお子さんはおもちゃで遊びたくてなかなか入室出来ない子やじっとしているのが難しかったため、2Fのトミカやままごとなどを貸し出した。
【町田市立博物館出張事業】 幼児向けやきもの体験 お皿にもようをつけよう	・ものづくりを体験する中で、作る面白さや楽しさ、考え方等豊かな感性を育む。	まあちで、粘土をたたいて平たくのばし、平皿を作った後、スタンプや葉っぱ、絵の具で模様をつける。その後、講師の工房で焼成し、完成した皿を参加者に着払いで郵送する。  講師：アトリエ方丈庵主宰 くつわだりえさん アシスタント1名	満3歳～未就学の幼児とその保護者 ※各回10名(申込順)	9/18(日) ①午前11時～正午 ②午後2時～3時	1,000円	①9名 ②10名	スタンプは講師お手製の素焼きのもので、幼児でもにぎりやすくなっていた。持参した恐竜のおもちゃで足形をつけたり、各々楽しみながら体験する機会となった。 参加人数が少ない分、講師が1組ずつまわりながら模様のつけかたを教えたりと、作る楽しさだけでなく、講師とのかかわりを楽しむ姿が見られた。

<p>【地域協力者事業】 親子でデイキャンプin ひなた村</p>	<p>・父親の活動の場を提供し、父親力を高める。 ・子どもが普段見ることのない違った一面の父親を知ることによって父親の家族の中での存在価値を高める。 ・父親にとって今までにない違った人生について学びきっかけとなり地域力向上と子育て支援につなげる。 ・参加したお父さんがまちで活躍できるように促すことで、地域で活躍したい父親を発掘する機会となる。</p>	<p>まちでピザづくりを行った後、ひなた村まで歩いて移動し、野外炊事でピザや木をおこす。 ひなた村の指導の下ハンモックづくりやネイチャーゲームを行う</p> <p>共催 町一小お父さんNW 協力 ひなた村</p>	<p>4歳～小学生の親子</p>	<p>11/6(日) 午前10時～午後4時</p>	<p>無料</p>	<p>9組 24名</p>	<p>まちでペットボトルに材料を入れて生地作りを行い、色々な場所の歴史について説明を聞きながら徒歩でひなた村へ向かった。到着後、ピザ作り・ネイチャーゲーム・ハンモックの設置などを行い、子どもたちは大興奮で楽しんでいた。 お父さんNWが企画から一緒に行ったことで、地域のお父さんの活躍の場につながった。またこれまでの関係性を生かしながら、流動的な対応をとることもできた。</p>
<p>【スポーツ振興課共催】 子育てママパパの子どもと一緒にちよっぴり運動</p>	<p>・まちへ来館するきっかけとなる。 ・スポーツ振興課と連携し、子育てをする母親、父親が運動を通してリフレッシュする。</p>	<p>体操の講師による運動遊び講座 講師：NPO法人アスレチッククラブ 町田 2名</p>	<p>1～3歳までの幼児とその保護者</p>	<p>①1/25(水) ②1/30(月) 午前11時～11時30分</p>	<p>無料</p>	<p>①21組 43名 ②19組 43名</p>	<p>幼児プログラム内で宣伝したこともあり、市外からの問い合わせや当日飛び入りの参加も多かった。 講師の声掛けや動きにあわせて、子どもも大人も楽しく動く姿が見られた。</p>
<p>【地域協力者事業】 おはなし音楽会～ピアノとフルートとおはなし～</p>	<p>・プロのピアニストとフルート奏者の迫力ある演奏と元アナウンサーの方のおはなしとのコラボによる文化芸術に触れることで、子どもたちの情緒に働きかけ、いろいろな価値観を受容する完成を育てる機会を提供する。 ・子どもと一緒に生の音楽に触れながら、親子でゆとりあるひとときを過ごしてもらおう。</p>	<p>おはなしと音楽 「三匹のこぶた」 「くものすおやぶんどけのさばき」 ピアノとフルートの演奏 「シンクペーテッドクロック」 「踊る人形」他  出演：湯浅ちささん、鶴川久美子さん、保谷町子さん</p>	<p>乳幼児とその保護者 ※各回20組(申込順)</p>	<p>3/17(金) ①午前10時30分～11時10分 ②午前11時30分～午後0時10分</p>	<p>無料</p>	<p>①25組 49名 ②29組 58名</p>	<p>昨年度に引き続きの開催。今回も密を避けるために2回に分けての実施。生の演奏を聴く機会の少ない親子が多く参加。ホールに響く音とおはなしに聴き入っていた。一部飽きてしまい抜けてしまう親子もいたが、音楽にあわせて手拍子したり、身体でリズムに乗る子もいた。子どもも大人も生の音楽に触れ、また地域の方ともつながる機会となった。</p>

【出張事業】

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	会場	参加総数	様子・成果

<2>子育て支援事業

【定期事業】

<定例活動>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
子ども委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を表明する場を提供することでコミュニケーション能力を育て、将来地域で活躍できるような人材を育てる。</li> <li>活動のなかで、やりがいや達成感を味わい、自信につなげる。</li> <li>まあちがより良い居場所になるように活動する。</li> <li>縦の繋がりを作、継続的な活動をしていく。</li> </ul>	イベントの企画実施 まあちの運営 ルールを子ども視点で考える 子どもたちの発意を実現する	小学3年生～18歳	毎月 第1、第3土曜日 午後2時～4時 ※活動の内容によって変更あり	65回	597名	活動時、積極的にアイデアや発意があり、利用者参加型アンケートやハロウィンイベント等を形にする経験や様々な活動ができた。イベントには300名程度の参加があり子ども達の達成感が高まった。低学年定例活動との合同遠足では特に異学年交流の他、上級生としてリードする関わりなど子どもたちの変化も見られた。
中高生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度末に発足したばかりのため、メンバーの定着を図る。</li> <li>様々な経験の中で、企画の立て方や、まあちで活躍することへの意義を見出し、地域の中での参画につなげる。</li> </ul>	館のルール検討 運営委員会への参加 イベントの企画実施 地域での活動に参加(子ども発達センター共催企画など) 日常のグループ活動	中学生～18歳	不定期			周年イベントをきっかけに、継続的に様々な活動を通して、まあちの中核となるグループに成長できた。 特に職員との関係性が深まることで自分たちのやりたいことをまあちを盛り上げて、みんなが楽しめるものにしていくマインドが生まれ活動の幅が広がった。 また館外の子ども参画事業などにも積極的に参加をした。
【小学生低学年定例事業】 まあち☆スタークラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの「やりたい」気持ちを引き出し、様々な経験を重ねることで主体性や感性を磨く。また異学校異年齢における活動のなかで、コミュニケーション能力や人間関係を構築する力を育てる。</li> <li>子どもたちの「やりたい」気持ちを引き出し、様々な経験を重ねることで主体性や感受性を磨く。</li> <li>子ども委員会と関わりを持つことで、他活動への意識を高め自然と憧れや繋がりを築ききっかけを作る。</li> </ul>	1年間の定例活動(新年度に募集)ものづくり、実験、あそび、調理活動等、子ども達のアイデアを取り入れ活動する。子ども委員会との交流も行う。 活動内容のお知らせを適宜、配布やはがきの郵送、電話等で連絡	小学1年生～3年生	毎月 ①第2土曜日 午後2時～3時30分 ②第4日曜日 午前10時30分～正午 ※活動の内容によって変更あり	21回	270名	定員を超えた申込があり、18名での実施となった。1年間を通して、遊びや工作、調理など、子どもたちの意見を取り入れた幅広い活動を実施。子ども委員会や第一学院の高校生、OBOGとの交流もでき、縦横それぞれのつながりを広げていった。 子ども委員会とかかわったことで、子どもたちの中にも子ども委員会への意識やあこがれが生まれた。

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
【地域協力者事業】 おもちゃ病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体の力を活用する。</li> <li>・事業を通して子ども達にものを大切に する気持ちを養う。</li> </ul>	<p>おもちゃの修理 電気系統の工作教室</p> <p>協力: まちだなるせだいおもちゃ病院</p>	どなたでも	<p>毎月 第2木曜日、第4土曜 日 午前10時30分～午後4 時 (受付は午後2時まで)</p>	22回	291件	<p>地域の方の活躍の場、やりがい を感じる場となっている。 おもちゃ病院をきっかけにまち に来館する方も多くいた。</p>
【地域協力者事業】 青少年委員さんの簡 単！わくわく工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年委員のスキルや知識を活か す。</li> <li>・地域の方に講師となっていたくこ とで、地域の方と子どもたちが交流 し、繋がりをもつ。</li> </ul>	<p>青少年委員による工作教室(紙コップ や割り箸など身近な素材を用いた簡 単に作れる工作)</p> <p>協力: 町田ブロック青少年委員</p>	どなたでも	<p>偶数月 第2水曜日 午後2時30分～4時</p>	5回	107名	<p>月によって参加が少ないことも あったが、常連で毎回参加する 子もいた。作って楽しい工作に は、幼児親子から小学校高学年 までの参加があった。作る中で 会話を楽しんだりと工作を通し て、子どもたちが地域の方と交 流する場となった。</p>
【地域協力者事業】 おりがみ教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材の力を活かす。</li> <li>・地域の方に講師となっていたくこ とで、地域の方と子どもたちが交流し 繋がりをもつ。</li> <li>・作品をつくる楽しさや完成したときの 喜びを体験する。</li> </ul>	<p>季節ごとにテーマを決めたおりがみ の折り方講座</p> <p>協力: 伊藤和男さん</p>	どなたでも	<p>毎月 第2または第3土曜日 午後1時～3時</p>	13回	214名	<p>地域の方の活躍の場となってい る。 月ごとにその季節に合った作品 を折り、毎月楽しみに来る利用 者も増えていった。教室内で出 会った子ども同士が教えあつた り、講師と子どもの関係だけで なく、子ども同士の関係性も広が っていった。</p>

【不定期事業】

＜自由参加＞	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
【地域協力者事業】 大久保さんの工作教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材の力を活かす。</li> <li>・土日に来館者が多いため、地域ボランティアを活用してプログラムの提供を行う。</li> <li>・地域の方と子どもたちの交流をはかる。</li> </ul>	①②七夕飾り ③ハロウィン工作 協力：大久保和江さん	どなたでも	①7/3(日) 午前10時～午後4時 ②7/6(水) 午後2時～5時 ③10/23(日) 午前11時～午後2時	3回	①50名 ②25名 ③99名	地域の方の活躍の場となっている。七夕飾りでは、笹も持ち込んでいただき、来館した子どもたちと一緒に作った短冊や飾りでいっぱいになった。ハロウィンでは子ども委員会のイベントと重なったので、参加者が多く、盛況だった。子どもだけでなく一緒に参加した保護者も、ボランティアとの交流を楽しんでいた。
MARCHオリジナルランキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達から保護者まで誰でも気軽に参加できる企画を設置する。</li> <li>・エントリーを募集することで、子ども達が自分の考えを表現できる機会にする。</li> <li>・利用者同士や職員とのコミュニケーションが生まれるきっかけになる。</li> <li>・子ども委員会がテーマ決めや、装飾に関わり、子ども委員会のPRIに繋げる。</li> </ul>	誰でも参加可能な自分たちで作るランキング テーマ：「生まれ変わるなら何の動物？」 ①利用者から、ランキングに入れたい動物と理由を募集 ②なりたい動物にシール投票 ③上位3位までを結果発表	どなたでも	①7/18(月)～ エントリー募集 ②8/7(日)～21(日) 投票期間 ③8/22(月)～9月中旬 結果発表	—	—	子ども委員会がテーマ決め、タイトルづくり、レイアウト決定し作り上げた。おたよりへの記載や開催中のランキング掲示など、子ども委員会のPRIになった。幼児から大人まで参加があり、親子や利用者同士、時に利用者や職員間の話題になった。単純で誰でもできるため多くの方が参加してくれた。1位ネコ、2位モモンガ、3位ハムスターという結果になった。
【町田市立図書館共催】 こわいおはなし会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の図書館と連携し、子どもとその保護者が本やおはなしにふれる場を提供する。</li> </ul>	小学生向けのこわいおはなし 共催：町田市立図書館	小学生 ※各回当日先着8名	7/29(金) ①午後2時～2時20分 ②午後2時40分～3時	2回	①9名 ②10名	今年度は密を回避するため定員を設けて行う。部屋を暗くし、こわいおはなしに相応しいの雰囲気の中行われ、季節感のあるおはなしに親しむ機会となる。
【地域協力者事業】 まあちウォーターランド2022	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏ならではの水遊びを親子で楽しむ。</li> <li>・地域のお父さんの活躍を後押しし、根付いていくように支援する。</li> </ul>	1階テラスを使い、スプリンクラーで水をまいて、水遊びを行う。 着替え場所として簡易テントを用意する。 協力：町田一小お父さんネットワーク	3歳～小学3年生 ※各回当日先着15名	8/7(日) ①午前10時30分～ ②午前11時～ ③午前11時30分～ ④午後1時～ ⑤午後1時30分～	5回	25組 51名	小学生をメインターゲットとしたが、幼児の利用が非常に多かった。天候が曇りだったため、参加者が少なく、体調管理のため、短めの参加を促した。テラスで水遊びを行ったが、お父さんネットワークが全て進行し、地域活動の宣伝などもしながら実施した。



<p>【地域協力事業】 防災イベント まなぼ～さい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時に適切な行動ができるよう実践的な体験・訓練をすることにより、子どもや乳幼児のいる保護者の方の防災の意識を高め、知識を得る機会とする。</li> <li>・乳幼児向け遊びのイベントを同時開催することで、防災イベントへの参加を促し、興味を持ってもらう。</li> <li>・職員も訓練に参加・体験することで、防災に対する意識・知識を高める。</li> </ul>	<p>応急救護体験 消火器体験 煙体験ハウス 消防車の展示 あそぼ～さい同時開催</p> <p>協力:まちだ消防署</p>	<p>どなたでも</p>	<p>9/23(金・祝) 午前10時30分～午後0時30分</p>	<p>1回</p>	<p>355名</p>	<p>雨予報だったが、何とかイベントの間は降らずに実施することができた。開館と同時にたくさんの親子が来館し、館内はかなり混雑した。各コーナーとも、ほとんど人が途切れることなく、体験に参加があった。幼児親子の参加が多かったが、小中高生まで幅広い層の参加があった。煙ハウスや消火器訓練では、何度も何度も体験する子どももいた。</p>
<p>【子ども委員会主催】 ハッピーハロウィン～ 輝くまぼろしのクエスト～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画を形にし、参加者に楽しんでもらう体験をする。</li> <li>・メンバーとの協力や準備工程を踏み、終了時達成感が得られるように繋げる。</li> <li>・様々な経験を重ね、周年イベント等今後に向けての可能性を広げる。</li> </ul>	<p>①館内装飾 ②迷路(スタンプ集め) 2階のまちべんエリアにブラダンやテントを用いて迷路を設置。迷路には宝箱に隠してスタンプを5個散りばめ、全て集めるとMARCHのロゴが完成する。迷路内には暗幕と光を使ったコーナーも設置。出口に参加賞を用意。</p>	<p>どなたでも</p>	<p>10/23(日) 午後1時～4時</p>	<p>1回</p>	<p>94組 300名程度</p>	<p>開始から混雑したため整理券を配布。何度も参加してくれる子ども見られた。高校生が迷路内の状況を判断し指示を出し、小学生は出入口での呼びかけ。参加賞の受付対応、館内放送など役割を交代し行った。運営側の人数に対して役割が少なく、もっと仕事がほしいといった声もあった。内容決めから準備まで、時間をかけ作り上げたことで、子どもたちの達成感に繋がった。</p>
<p>町田高校軽音楽部 音楽ライブ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主軸となるメンバーが、今後まあちのイベントや、子どもの参画事業でも活躍してもらえよう、実施に向けた支援の中で関係性を作る。</li> <li>・コロナウイルス対策をしながら、子どもたちのやりたいを推進する。</li> </ul>	<p>まちぴよんを使用した音楽ライブ</p>	<p>出演町田高校軽音楽部</p>	<p>11/14(月) 12時30分～16時</p>	<p>1回</p>	<p>70名</p>	<p>自分たちが楽しむだけでなく、みんなが楽しめるように事前の打ち合わせを重ねたことで、ライブの様子を、乳幼児や、小学生も見に来ることができ高校生と交流することができた。ライブ中は非常に盛り上がった。</p>
<p>【地域協力者事業】 ふらっと手作りタイム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関わりたい地域の人材が、活動を通して地域内で活躍できるようにする。</li> <li>・利用者にとって様々な体験ができる機会を設け、自分の手で作り上げる経験や自信に繋げる。</li> <li>・裁縫や縫物等の基本を知ること、子どもたちの可能性を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・針と糸に触れる</li> <li>・玉どめ</li> <li>・手縫いで簡単なティッシュケース作り(針と糸、布1枚)</li> </ul> <p>講師:にしだみよこさん</p>	<p>どなたでも</p>	<p>11/26(土) 午後2時～4時</p>	<p>1回</p>	<p>2組</p>	<p>針に糸を通して玉どめの方法を伝達。布の持ち方、針の運び方を練習し、ケース用の布に持ち替えて進めた。本縫いは終わらず、家で完成させてもらうことになった。参加者年齢が低く、2組とも針を持つことが初めてだったが、段階的に取り組めたため、興味を持ち長い時間参加ができた。最終的には一人でも縫い進める事ができるようになった。</p>

<p>【人材活用事業】 はり絵の世界を楽しもう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材が子どもに教えたり関わる機会を設けていくことで、地域で活躍するためのきっかけにする。</li> <li>・身近なものを使用しものづくりができることを知る。</li> <li>・作品を作る楽しさへの気づきや表現できる機会の提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はり絵体験</li> <li>はさみやのりをを用いた作品作り。色画用紙やポストカード台紙に、特殊紙や折り紙、シール、フリーペーパーなどを用いて自由に切り貼りする。</li> </ul> <p>講師:アーティスト 小倉玲奈さん</p>	<p>どなたでも</p>	<p>①11/26(土) ②3/26(日) 午後2時～4時</p>	<p>2回</p>	<p>①33名 ②27名</p>	<p>夏休み事業の実施がきっかけとなり活躍の場ができ、対象や実施方法などを講師にアドバイスしながら2回実施。今後の活躍にも意欲的である。 子どもがイメージを膨らませ素材を選び、自身の感覚から手を動かすため色合いや重ね方への工夫など多種多様な作品が出来上がった。保護者が一緒に取り組むこともあり、親子で向き合う時間にもなっていた。</p>
<p>【人材活用事業】 からくりおもちゃであそぼう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関わりたい地域の人材が、まあちでの活動を通して、地域内で活躍できるようにする。</li> </ul>	<p>からくりに挑むコーナーと出来上がったもので遊ぶコーナーを分けて実施</p>	<p>どなたでも</p>	<p>12/11(日) 午後2時～4時</p>	<p>1回</p>	<p>18名</p>	<p>乳幼児も出来上がったもので楽しんでしたが、それ以上に、高校生や保護者が、からくりの難しさに熱中して楽しんでた。 講師は、子どもの様子を知ることができ、次回に向けてやり方を考えるきっかけとなった。</p>
<p>【子ども委員会主催】 まあちでストリートピアノ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども委員発意の企画を実現させ、子どもたちの経験に繋げる。</li> <li>・幼児から保護者まで自由な形で参加でき、人前で演奏をする経験や聞いてもらう機会を気軽に体験できる。</li> <li>・順番を譲るなど他者への配慮を育む。</li> </ul>	<p>1階ホールにピアノを設置。スタジオ利用の中高生や音楽に興味のある小学生等が、自由に演奏やセッション、演奏を聞くなどを楽しむ。ピアノ以外の楽器も設置(タンバリンやカスタネットなど)。</p>	<p>どなたでも</p>	<p>12/25(日) 午後1時30分～</p>	<p>1回</p>	<p>50名</p>	<p>子ども委員会が館内放送後、クリスマス曲を合奏して開始した。幼児のお母さんが楽譜演奏、高校生の連弾、緊張しながら披露する小学生など聞いてもらう体験の場や、自由に音楽を楽しむ時間になった。ピアノを弾くのが難しい幼児でも、側に置いていた楽器に触れて音を楽しむ様子が見られた。</p>
<p>【子ども委員会中高生主催】 筆を使ってあそんでみよう!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども委員会(高校生世代)の新規活動メンバーを獲得し、活動を拡大するとともに、子どもの参画へとつなげる。</li> <li>・現在主力として活躍できていない、中学生子ども委員の活躍の場を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書初めコーナー</li> <li>書初め用の半紙を用意し、今年の抱負などを書く。</li> <li>・楽しめるコーナー</li> <li>筆を使って手に色をつけカラフルな手形で「うさぎ」の文字を浮かす。</li> <li>様々な筆を用意し、大きな紙に自由に描く。</li> </ul>	<p>どなたでも</p>	<p>1/6(金) 午後2時～4時</p>	<p>1回</p>	<p>25名</p>	<p>複数のコーナーがあることで、参加者が分散した。また、ひとつ体験しては他のコーナーも体験してみたいといういい流れが出来ていた。年齢に関わらず参加することができ、ゆっくり楽しんでいる子が多く、子ども達からの「楽しかった」という声も多く聞こえた。企画した高校生も活躍しながら、参加した子どもたちとの交流へとつながった。</p>

<p>【町田地域子育て相談センター共催】 中高生と乳幼児の交流プロジェクト</p>	<p>・乳幼児と触れ合うことの楽しさを感じながら、命の重みや子育ての喜びや大変さについて知る。また命の尊さや子育てについて知ることで、将来の児童虐待の防止につなげる。 ・中高生自身もこうして育てられたことを知ることで、親への感謝や、自身の将来の家庭像について思い描く機会となる。</p>	<p>中高生募集 中高生ミーティング イベント企画・準備 イベント実施実施 振り返り(打ち上げ) 共催：町田地域子育て相談センター</p>	<p>中学生以上</p>	<p>①1/22(日) 午後2時～ ②2/1(水) 午後4時～5時30分 ③2/8(水) 午後4時～5時30分 ④2/19(日) 午前10時45分～11時45分</p>	<p>4回</p>	<p>①4名 ②2名 ③3名 ④13名</p>	<p>1月から参加メンバー募集を開始。なかなか参加者の都合が合わず、初めのうちは参加者が少なかったものの、集まったメンバーとても積極的・能動的にイベントの企画や準備を進めてくれた。メンバーが学校の友人を準備に誘ってくれたおかげで、興味を持つ子が増え、参加メンバーの増加に繋がり、イベント当日はたくさんの高校生が参加し、楽しさや達成感を感じることに繋がった。</p>
---	---	---	--------------	--	-----------	-------------------------------------	--

<申し込み制>	目 的	主な内容	対 象	日 時	費 用	参加総数	様 子 ・ 成 果
【地域協力者事業】 見上げてごらん夜空の星を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材の力を活かす。</li> <li>・地域の方に講師となつていただくことで、地域の方と子どもたちが交流し繋がりをもつ。</li> </ul>	<p>季節ごとの夜空の様子や天体イベントについての講師による説明 天体望遠鏡や双眼鏡を使った星空観察</p> <p>講師：星空案内人 宮森さん</p>	小学生～18歳とその保護者 ※各回12組(申込順)	①7/9(土) ②8/6(土) ③11/5(土) ④2/18(土) 午後6時～8時	無料	①11組 21名 ②11組 21名 ③12組 22名 ④7組 16名	<p>昨年度に引き続き、定員を少なくしての実施となったが、その分講師との関係性が深まった。雲の隙間から観察することもあったが、季節ごとの天文現象を知りながら、観察を楽しんだ。リピーターも増え、定員は毎回安定している。</p>
【地域協力者事業】 工作教室「光るコマ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工作を通して、磁石の性質について知り、参加者の理科への興味・関心を抱きかけとする。</li> <li>・地域で活躍する方とつながりを持つきっかけとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃ病院のドクターが講師となって、磁気センサの一種であるリードスイッチを使った工作を行う。</li> <li>・磁石の性質について学ぶ。</li> </ul> <p>講師：おもちゃ病院まちだなるせだい</p>	小学生 ※15名(申込順)	7/23(土) 午前10時30分～正午	400円	14名	<p>磁石の性質が難しかったが、ドクターがやさしくわかりやすく説明。低学年も興味津々に話を聞いていた。子どもとドクターとの関わりだけでなく、保護者とドクターの関わりも見られた。</p>
【人材活用事業】 簡単草木染めを体験しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材が子どもに教える機会を設けることで、子どもの様子や、今後地域で活躍するためのきっかけとする。</li> <li>・自由研究テーマとして、子ども達が様々な体験をする機会を設ける。</li> </ul>	<p>「簡単やさしい色の星染めエコバック」 草木等を染料に、エコバックを2色に染める。割りばしと輪ゴムを用いて、「板じめしぼり」を応用した星の形づくり 完成作品鑑賞</p> <p>染料… 星の内側はヒメジオン(黄色) 星の外側は冷凍ブルーベリー(紫色)</p> <p>講師：ものづくり文化振興協会 大川さん</p>	小学3年生～中学生 ※10名(申込順)	8/3(水) 午前10時30分～正午	100円	7名	<p>板じめしぼりした箇所に草木で黄色染めした後、ベリーをすりこみ紫色に染めた。最後まで仕上がりがわからないため、広げたときの反応は驚きなど様々で作品鑑賞では参加者間のコミュニケーションもはかれた。技法への学びと個々の工夫を加えた応用、2種類の染めなど体験ができた。</p>
【生涯学習総務課共催】 木の皮からつくる紙すき教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達がまちで様々な体験を出発できるようにする。</li> <li>・公設の施設として、子ども達が町田を知る木脚気とする。</li> </ul>	<p>①子どもと楽しむ手形の和紙作り ②和紙づくりの基礎体験と和紙クイズ</p> <p>講師：東京手すき和紙工房 北村 春香さん 共催：生涯学習総務課</p>	①2歳以上の幼児親子 ※6組(申込順) ②小学生～18歳 ※10名(申込順)	8/4(木) ①午前11時～正午 ②午後1時30分～3時30分	500円	①12名 ②10名	<p>①子どもの手形をかたどる和紙作り3種類の中から、好きなものを1つ選んで親子で手形の和紙作りを行った。 ②グループに分かれて紙漉きの工程を1つ1つ体験し、和紙作りを行った。和紙を乾燥させている間に和紙作りの動画を視聴し、和紙クイズや、和紙でできた民芸品の紹介、いろんな紙の強さ比べなども行い、和紙についての知識も広く深めることができた。</p>

<p>【人材活用事業】 はり絵の世界を楽しもう</p>	<p>・地域人材が子どもに教える機会を設けることで、子どもの様子や、今後地域で活躍するためのきっかけとする。 ・自由研究テーマとして子どもが体験できる機会を設ける。</p>	<p>・はり絵体験 抽象画についての説明、各自が設定したテーマにもとづいた作品作り、ワークシートの記入、皆の作品鑑賞会 講師：アーティスト 小倉玲奈さん</p>	<p>小学生 ※10名(申込順)</p>	<p>8/5(金) 午後2時～4時</p>	<p>無料</p>	<p>10名</p>	<p>低学年の参加が多く、抽象画の話では理解が難しい子もいた。作品制作においては自由さがあり、はり絵への学びや感性を表現する体験ができた。講師にとっては、取り組む内容や子どもとの関わり方、課題点等を知る良いきっかけになった。</p>
<p>【人材活用事業】 割りばし工作～虫かご作り～</p>	<p>・子どもに関わりたい地域の人材が、まちでの活動を通して、地域内で活躍できるようにする。 ・工作の指導法についてアドバイスすることで、ほかの施設でも活躍できるように人材育成を図る。</p>	<p>割り箸を使用した工作。治具手作りのものを使用し、物作りやその仕組みについて学べるようにする。 講師：からくり山おもちゃの会 山内さん</p>	<p>小学生 ※10名(申込順)</p>	<p>8/7(日) 午後2時～4時 ※10名(申込順)</p>	<p>100円</p>	<p>10名</p>	<p>講師が提示してきた内容が、対象に対して非常に難しかったため、アドバイスと修正をかさね実施した。講師にとっても子どもの発達に合わせて考えることのできるいい機会となった。完成品のレベルが高かったこともあり参加者からは非常に好評だったが、保護者がサポートする場面も多く見られた。</p>
<p>【町田市介護人材開発センター共催】 まちあ★キッズ かいごのお仕事体験 in子どもセンター</p>	<p>・町田市介護人材開発センターとの共催事業。 ・地域の介護施設の方から介護の仕事について教わり、介護の仕事に興味関心をもつきっかけとする。</p>	<p>(1)介護士体験：車いす体験 (2)看護師体験：白衣を着て、問診・バイタルチェック、問診のロールプレイ (3)栄養士体験：手洗いチェッカー体験、とろみづけ体験 共催：町田介護人材開発センター</p>	<p>小学生 ※各回18名(申込順)</p>	<p>8/8(月) ①午後1時30分～2時30分 ②午後3時～4時</p>	<p>無料</p>	<p>①8名 ②12名</p>	<p>それぞれのコーナーをグループごとにローテーションで体験。どのコーナーも普段体験することがあまりないため、楽しみながらも介護の仕事についてを学んでいった。楽しかったという感想のほかにも、介護の仕事への興味を持ったとの声も上がっていた。</p>
<p>【3R推進課主催】 リサイクルガラス砂絵教室</p>	<p>・砂絵づくりを通して創造性を養う。 ・リサイクルガラスを通して環境問題に触れ、リサイクルの大切さについて学ぶ。</p>	<p>・リサイクルガラス砂を使った砂絵の作成 ・ガラスのリサイクルの話 主催：3R推進課 協力：まちだエコライフ推進公社</p>	<p>小学生 ※15名(申込順)</p>	<p>8/13(土) 午前10時30分～12時30分</p>	<p>無料</p>	<p>14名</p>	<p>リサイクルについて学んだ後、自宅で描いてきた下絵を台紙にうつし、ボンドでカラフルなガラス砂で色をつけていった。目の前のリサイクルガラスが何からできているかを考える姿も見られ、環境問題について考えるきっかけとなった。</p>

<p>【文化振興課共催】 町田市立博物館出張事業 ガラス体験</p>	<p>・工芸美術についての知識を深める。 ・ものづくりを体験する中で、作る面白さや楽しさ、考え方等豊かな感性を育む。</p>	<p>ペン型のハンドグラインダーを使い、コップ等のガラス器に好きな絵を彫る。 講師：ガラス作家 後閑博明さん</p>	<p>小学3年生～18歳 ※各回10名(申込順)</p>	<p>8/19(金) ①午後1時～2時 ②午後3時～4時</p>	<p>500円</p>	<p>①10名 ②7名</p>	<p>一部リピーターで事前にガラスコップに合わせて絵を描いてくる子もいた。用意された絵から描く子もあり、各々ものづくりを楽しんでいた。 講師が参加者ひとりひとりにアドバイスをして回り、どの子も上手に作り上げていた。 ガラス細工についての話も聞き、ものづくりの中で、工芸美術への知識を深めることができた。</p>
<p>【町田薬剤師会共催】 子ども薬剤師体験</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもたちの体験の場が失われている中、遊びに来る子どもたちに、普段はできない新たな体験をする機会とする。 ・薬剤師の仕事を経験することで、薬剤師に興味関心を持つきっかけとする。</p>	<p>お菓子を使った調剤体験 チョコ、ラムネの錠剤分包調剤 ミルメークによる散財調剤 カルピスによる水剤調剤 共催：町田薬剤師会</p>	<p>小学生とその保護者 ※各回2名(申込順)</p>	<p>11/3(木・祝) 午前11時～午後3時 1回15分程度(全16回)</p>	<p>無料</p>	<p>50名</p>	<p>参加する学年に合わせて、説明方法も変えており、参加した子どもみんなが「楽しかった！またやりたい！」との感想をあげていた。 薬剤師体験をきっかけに初めて来館する方や久しぶりに来館する方も多く見かけた。薬剤師になりたい子も増え、興味関心を持つきっかけとなった。</p>
<p>【市民協働共催】 若者の参画事業 若者が市長と語る会</p>	<p>・市長と語り合う経験から、自分の意見や思いを伝え今後の参画につなげる。 ・自分が住む地域(町田市)について考える機会にする。</p>	<p>事前のワークショップ(2回) 参加する若者が話すテーマを決めて、市長と語り合う ・フリップを使用した自己紹介 ・町田の好きなところ ・市長に聞いてみたいこと ・子どもにやさしいまち条例について 共催：市民協働課</p>	<p>中学生以上 ※10名程度(申込順)</p>	<p>11/12(土) 午後5時30分～7時</p>	<p>無料</p>	<p>中学1年生から高校生 11名</p>	<p>終始和やかな雰囲気ですり合いをした。市長の個人的な質問から始まり、若者らしいSNSなどの話をした後、ごみ問題や、モノレール、市の広報、LGBTQなどの幅広いジャンルについて意見交換をした。その中で若者がやりたいことを実現できるような新しい発想が生まれ、若者にとっても今後の活動の拡大につながった。</p>
<p>【地域協力者事業】 クリスマスリースを作ろう</p>	<p>・子どもたちが主体的にモノ作りを楽しみ、作り上げる喜びを味わってもらうとともに、ボランティアの方の活躍の場を提供する。 ・地域の方と子どもたちの交流の場としてつながりを持たせる。</p>	<p>講師の用意したリースの土台や花材を使い、一人1つクリスマスリースを作る。対象年齢によって異なるリースを作成する。花材は講師の方がドライフラワーに加工したものを使用。 講師：大久保和江さん</p>	<p>小学3年生～18歳 ※各回5名(申込順)</p>	<p>12/4(日) ①午前10時30分～午後0時30分 ②午後1時30分～3時30分</p>	<p>800円</p>	<p>①4名 ②5名</p>	<p>昨年度に引き続き、人数を少なくしての開催となった。講師の方は、他に年間を通して季節の工作教室をしていただいていた、まあちでの活躍がこれからも期待される。講師とのつながりもでき、一部リピーターもあり、次年度以降は使用した土台を持ち込み、再利用する方法も検討することになった。</p>
<p>【地域協力者事業】 お正月かざりを作ろう</p>	<p>講師の用意したしめ縄に自分で好きなように飾りをつけていく。 講師：大久保和江さん</p>	<p>5歳～18歳 ※各回10名(申込順)</p>	<p>12/25(日) ①午後1時～2時 ②午後2時30分～3時30分</p>	<p>500円</p>	<p>①5名 ②9名</p>	<p>講師の用意したしめ縄に自分で好きなように飾りをつけていく。 講師：大久保和江さん</p>	

<p>【地域協力者事業】 おたのしみコンサート ～いのちってなあに？へいわってなあに？～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年開催することにより、まちでの地域ボランティアによる事業の定着をはかる。</li> <li>・利用者、地域、ボランティアの繋がりを深める。</li> <li>・生の演奏に触れることで音楽を身近に感じ、五感で音楽を楽しむ。</li> </ul>	<p>「綿々と受け継がれ、めぐっていくいのちの賛歌」「平和の大切さ」をテーマに歌とコントラバス、ギターでの演奏を行う。 オリジナル曲、童謡など。 出演：吉田水子さん、金子忍さん (吉田水子企画)</p>	<p>どなたでも ※50名(申込順)</p>	<p>2/18(土) 午後2時～2時40分</p>	<p>無料</p>	<p>73名</p>	<p>今年度は新作を披露する機会となった。申込時点で年齢層が低いことがわかり、幼児でもわかる曲を急遽取り入れたこともあり、子どもから大人まで反応が良かった。 生の演奏に触れることができ、また五感で音楽を楽しむ機会となった。</p>
<p>【包括連携協定事業】 中高生のための動けるカラダ講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括連携協定事業の第一か目の事業としてとして、来館する中高生のニーズ調査を行う。</li> <li>・中高生が体を動かすことを楽しさや重要性を感じ、正しい体の動かし方を部活などで生かせるようにする。</li> </ul>	<p>中高生が部活などで使える体の動かし方講座、プロテイン試飲会 協力：スポーツクラブメガロス町田</p>	<p>中学生以上 ※20名(申込順)</p>	<p>3/10(金) 午後6時30分～7時30分</p>	<p>無料</p>	<p>32名</p>	<p>申し込みでは参加者が集わなかったが、当日の声掛けで、館内のほぼ全員の利用者が参加した。 参加者からは部活のようできついといった声も上がりつつ、音楽をかけるなどして楽しく参加できている様子も見られた。 中高生のニーズや、声を聴くのにいい機会となった。</p>
<p>【若者の参画事業】 応急救命講習会Ⅰ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生発意の参画事業として実施し、今後の活動のきっかけ作りとする。</li> <li>・対象を中高生とすることで、同世代の活躍を目の当たりにし、参画への興味が持てるようにする。</li> <li>・防災の啓発活動を中高生事業として実施する。</li> </ul>	<p>高校生利用者が講師となり、同世代の高校生に応急救命講習を行う。(受講後は普通救命講習認定証を付与)</p>	<p>中学生以上 ※10名(申込順)</p>	<p>3/12(日) 午後2時～5時</p>	<p>900円</p>	<p>6名</p>	<p>講師と知り合いの参加者もあり、終始和やかに進行した。参加者からは興味はあったがこういう機会がないとなかなか参加できなかったとの声が上がった。 講師となった高校生にとっても自信となり、次の活動に向けた試行的実施ができた。</p>
<p>もぐもぐクッキング</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な調理経験を通して、作ることの楽しさや食に対する関心を高めるきっかけにする。</li> <li>・児童が主体的に取り組み、様々なスキルを身に付けることで自信に繋げる。</li> <li>・調理室の周知とクッキングルーム活用を兼ねる。</li> </ul>	<p>調理体験 お好み焼きづくり</p>	<p>小学生～18歳 ※8名(申込順)</p>	<p>3/21(火・祝) 午前11時～午後1時</p>	<p>250円</p>	<p>10名</p>	<p>多数の申込があり8名を10名に増員、2～6年生までの参加があった。焼き工程で形を工夫する子や「お好み焼きを知らない」という子も何人かおり、参加することで考え知る機会となった。 調理専門の高校生が見学兼補助(ボランティア)で4名入り、包丁の使い方や焼き方での配慮など、適宜参加者と関わった。</p>

【支援事業】

	目的	主な内容	対象	日時	会場	参加総数	様子・成果
【青少年健全育成町田中央地区委員会主催】 みんなであそぼう会	・地区委員会の意向を汲みながら、企画や実施のサポートを行うことで、地域の活性化を図る。 ・地区委員会の役員が今後も地域の中で活躍していけるような支援や働きかけを行う。	青少年健全育成町田中央地区委員会主催の地域のイベントに企画や実施のサポート。 事前に打ち合わせを行い、意向を確認、当日は巨大オセロや玉入れなど身体を使った遊びを実施した。	町田中央地区の小学生親子	10/22(土) 午前9時30分～11時30分	サン町田旭体育館	16組 31名	お手本などで役員の方に前に出てきていただく機会を設けた。はじめは家族や友達同士で固まっていた参加者も、遊びを通して関わりやすくなり、チームごとに盛り上がっていた。コロナ禍で3年ぶりの実施となったが、地区委員会とその地区の子ども、保護者がつながるきっかけとなった。
【第一学院高校】 ボランティア受け入れ	・学校連携の中から、地域やまちの中で活躍できる人材を発掘する。 ・高校生が普段できない経験の中で、子どものかかわりや職員でのやり取りを楽しみと思えるような機会にする。	既存事業のサポートや、手遊びなどの企画実践 ・まあい☆スタークラブ ・まちびよんキッズ ・からくりおもちゃの会 ・まなぼ～さい	第一学院高等学校の生徒	それぞれの事業に準ずる	それぞれの事業に準ずる	延べ30名	当初は学校の先生からのボランティアの受け入れ依頼だったが、1回経験したあと、再度深く学びたいと生徒から受け入れの要望が上がった。当初は緊張していたようだが、回数を重ねるごとに、参加する子どもたちの気持ちも考えられるなど成長が見られた。加えて冬事業の企画実施など学校外での活動にも広がった。
【子ども会支援】 中町三丁目子ども会「6年生を送る会」	・子ども会や子ども育成支援団体等に、プログラムサービスを提供し、地域の活性化を支援する。 ・継続的な支援を行うことで、地域の中のまあちを認知できるようにする。 ・まあちのPR・来館のきっかけにつなげる。	企画する保護者役員の負担軽減も含め、企画のサポートを行う。 当日の歯科医補助やレクレーションなどを実施し、子ども隊の楽しいを保護者の代わりに引き出す。 新型コロナウイルス対策のサポート。 役員との事前打ち合わせでの、コンサルティング。	子ども会会員 子ども会役員	3/12(日) 午前10時30分～正午	まちちよき	25名 (子ども17名 大人8名)	事前の打ち合わせでは、保護者の思いに合わせてき悪をサポートしたため、子ども会とのつながりを深めることができた。当日は子どもたちが楽しそうに過ごし、役員の企画目的を達成することができた。

【スタジオ講習】

内容	開催日	開催回数	対象	参加総数	備考
音楽スタジオ「まちおと」を使うための講習会	月2～3回程度(中高生が参加しやすい土日や水曜日の夕方を中心に) 約1時間30分	43回	中学生～18歳 ※各回8名(申込順)	128名	今年度中学生になった子の利用が多かった。町田高校軽音楽部は1年生全員が受講、その他高校も練習するため多く受講した。受講後もスタジオの利用へとつながり、利用率は上がった。 イベント参加の声かけなど、中高生へのアプローチの場にもなっている。



<3>主催イベント

	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
まあち6バースデー	<p>① 近隣住民の方々に日頃の感謝の気持ちを伝え、より多くの市民へ、子どもセンターの楽しさを周知でき来館者及びリピーター率増につなげる。</p> <p>② イベントをきっかけに、子どものやる気と主体性を繁栄した取り組みを子どもと地域住民、地域団体等とおこない、地域連携強化、協力し合える関係造りにつなげる。</p> <p>③ 子ども委員を中枢にイベントの企画運営をおこない、新たに子ども実行委員会を立ち上げることで、大勢の子どもたちが関わりそれぞれが様々な経験や体験をする機会とする。また、イベントを通して中高生はリーダーシップを発揮し下級生のお手本となり、小学生は自分が中高生になった時の未来像を描ききっかけにつなげる。</p>	<p>【子ども委員会出店】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームコーナー</li> <li>・忍者屋敷(大型迷路)</li> <li>・みんなのすていじ(自由ステージ)</li> <li>・動画ライブ</li> </ul> <p>【地域団体出店】</p> <p>的あて(まあち応援隊)、ヨーヨー釣り(本町田地区委員会)、缶バッチづくり(森野地区委員会)、手裏剣づくり(町田中央地区委員会、手裏剣道場(お父さんNW)、パルーンアート(民生・児童委員)、読み聞かせ、朗読劇(にこぼ)</p>	どなたでも	4/24(日) 午前10時～正午 午後1時～3時	無料	1014名	<p>今回の周年イベントに向けて、新規の中高生員会を結成し、準備を進めた。当日までを通して、利用者の中高生が地域とかわる機会にもつながり、グループとして定着することができた。</p> <p>コロナで昨年までイベントができなかったこともあり、地域が久しぶりに交流できる機会となった。</p> <p>小学生と中高生の異年齢交流もすることができ、子どもたちのやりたいことを子どもたち自身で達成することにつながった。</p>
トレイン展示会	<p>・学生ボランティアの活躍の場を創出すると共に、日常と異なる体験・遊びの場を来館者に提供する。</p> <p>・コロナ規制緩和に合わせて、流動的な手法を展開し、より多くの人々がイベントに参加できるようにする。</p>	<p>①1階ホールを使用したトレイン展示会</p> <p>②2階スペースを使用したトレイン展示会</p> <p>③④2階プレイスペースを使用したトレイン展示会</p>	どなたでも (申し込み制の時間に限り町田市内在住または在学)	<p>①9/11(日) 午前10時30分～午後2時 申込30分3枠 整理券制1時間3枠</p> <p>②2/26(日) 午前10時30分～午後4時 申込30分3枠 整理券制1時間3枠</p> <p>③3/18(土) ④3/19(日) 午前10時30分～午後4時</p>	無料	<p>①300名</p> <p>②360名</p> <p>③179名</p> <p>④259名</p>	<p>ボランティアの活動の中で、参加者を喜ばせたいという思いが大きくなり、見せ方や参加方法などについて様々な工夫と提案をしてくれるようになった。参加者からも、次回の実施の声が聞かれるなど好評なものとなった。</p> <p>また、コロナの緩和に合わせて、実施方法を変更したことで、利用者のニーズと感染症対策について見直すことができた。</p> <p>また、次回以降の実施についても定着ができています。</p>

<4>共催・協力イベント

	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
【ものづくり文化振興協会主催】 ものづくりチャレンジ大作戦inまあち	・地域人材の掘り起こしや、学校とつながりを持てる機会とする。 ・子ども達が求めている工作などの体験ができる機会を設け、夏休みに特別な体験を地域の力でできるようにする。	ものづくり体験ブース(8事業)実施。 事前予約制。 団体が企画運営を行い、まあちでは、企画のサポートや場所や物の提供を行う。	小学生以上 (主催団体が設定)	8/11(木・祝) ①午前10時～正午 ②午後1時30分～3時	主催団体が管理	65名	初めてまあちを訪れる参加者もあり、まあちのPRにもつながった。 出店した企業や、団体、個人のボランティアとつながることができ、夏休みのイベント講師の依頼や、次回の事業に向けて連携できるきっかけとなった。
【子ども家庭庁準備室主催】 小倉大臣との意見交換会	・子ども政策担当大臣と意見交換することで、子どもたちが思っていることを大人(政治関係)に伝えられる経験をする。 ・子ども委員としての子どもの参画の良さを子どもたち自身が再認識できる機会にする。	小倉子ども政策担当大臣と、子ども委員会が意見交換をする。意見交換前に事前にワークシートなどで自分の言いたいことをまとめておく。	子ども委員メンバー	10/23(日) 午後2時～4時(館内見学含む)	無料	10名 (子ども委員の小学3年生から高校2年生)	司会進行を高校生が行ったことで、大人の意見が入らない素直な気持ちで、対話することができた。 参加した子ども委員にとって、貴重な機会になったとの声が聞かれ、自分たちの意見が聞いてもらっていると実感できる機会となった。
【子ども発達センター主催】 夏祭り出店(子ども委員会)	・高校生の活躍の場の拡充と、経験の場とする。 ・支援が必要な子供と触れ合うことでインクルーシブの考え方を深めるとともに、今後のまあちでの活動に新しい視野を取り入れる。 ・OBの大学生によるレクチャーをもとに高校生が企画の仕方や、事業の進め方を学ぶ。	高校生企画 キラキラペットボトル作り 手作りプラネタリウム  大学生ボランティア企画 風船ハウス	子ども委員メンバー、子ども発達センター通所児童	7/9(土) 午後0時30分～3時	無料	160名 (出店:140名、子ども委員会、OB:20名)	中高生委員会が、自分たちで企画を考え、それを専門家である子ども発達センター職員にプレゼンし評価してもらったことで、目的に合わせた企画の流れについて学ぶことができた。 また、支援が必要な子どもと直接かわり、かわり方を考える機会になったことで、インクルーシブの考え方が深まった。 子ども発達センターの職員からも、高校生の発想を見聞きして、新しい視点で療育を考えるきっかけとなった、といった声が聞かれた。

<p>【子ども発達センター主催】 冬まつり出店</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田地域内の近隣施設との連携を行う。</li> <li>・高校生の活躍の場の拡充と、参加生徒の経験の場とする。</li> <li>・OBの大学生によるレクチャーをもとに高校生が企画の仕方や、事業の進め方を学ぶ。</li> <li>・まあち以外の施設で活動することで、高校生が子ども達の様子や関わり方について、別の視点で学ぶ。</li> </ul>	<p>オリジナルの劇(ネズミ君の靴下)</p>	<p>子ども発達センター通所児童</p>	<p>12/23(金) 午前10時00分～11時30分</p>	<p>無料</p>	<p>160名 (出店:140名、子ども委員会、OB:20名)</p> <p>夏祭りに引き続き、地域の他施設と継続的な連携をとることができた。 また通所する子どもたちやその保護者が、まあちを認知する機会になり、その後の来館につながったとともに、当日参加した学生に声をかけるなどの姿も見られた。 劇も普段の療育とは違う視点でのアプローチもあってか、惹きこまれるように観覧し、子ども発達センターの職員にとっても新しい発見ができる機会となった。</p>
---------------------------------	---	-------------------------	----------------------	-------------------------------------	-----------	---

<4>中止になった事業

【定期事業】

<申し込み制>	目 的	主 な 内 容	対 象	日 時	費 用	備 考
【地域協力者事業】 まちれびCOOK!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方を講師に招くことで、子どもと地域が繋がる良い機会となる。</li> <li>・調理に取り組む中で、様々なことを聞き知ること、時に間違いを正してもらうことで子どもたちが想像したり、考えたりする力を育む。</li> <li>・協力しながらも自分の手で作り上げることで自信に繋げる。</li> </ul>	季節の料理や焼き菓子、フルーツを使ったお菓子等、グループで調理し味わう。	小学生～18歳まで	—	—	新型コロナウイルス対応に伴い、前年度に続き中止。別のものづくりの事業(ふらっと手作りタイム)を1度実施した。

### 2022年度 子どもセンター合同事業

	目的	主な内容	対象	日時	会場	費用	参加総数	様子・成果
町田市27km チャレンジハイ ク	①仲間(人)の大切さに気づき、コミュニケーション能力を育む ②苦しいチャレンジの達成から、今後の生活の自信に繋げる ③自分の住む町田に愛着を持つ	町田市27kmを1日で歩くチャレンジ	小学5年生～ 18歳	3/27(月)	町田市内	100円	11名	9時頃に市役所本庁舎をスタートし、成瀬、玉川学園、鶴川、小野路、小山田、忠生…と町田市をまわり、17時頃に本庁舎にゴールした。今回は参加人数が11人と小規模だったため、3グループに分けてはいたものの、結果的にはひと固まりでのウォーキングとなった。参加者のほとんどが中学生で小学生の参加は1名だった。小学生を中学生と大学生スタッフを含めた全体で可愛がるというような光景があり、丸一日のイベントを通じて参加者全員がお互いにコミュニケーションを密接にとることができていた。



< 視察・見学等 >

受入日	団体名	人数	備考	受入日	団体名	人数	備考
6 月 15 日	町田第一小学校2年生	30		9 月 15 日	深谷市議会議員 小林真	1	
7 月 7 日	町田第二小学校2年生	72		10 月 7 日	高ヶ坂小学校3年生	48	
7 月 25 日	1日ボランティア体験 立川五中教諭	1		10 月 23 日	国会議員 小倉将信こども政策担当大臣	3	
9 月 8 日	みらい子育てネットさがみはら連絡 協議会 会長 西谷 八千代	19		月 日			

受入日	団体名	人数	備考	受入日	団体名	人数	備考
月 日		人		月 日		人	
月 日		人		月 日		人	
月 日		人		月 日		人	
月 日		人		月 日		人	

## 2022年度

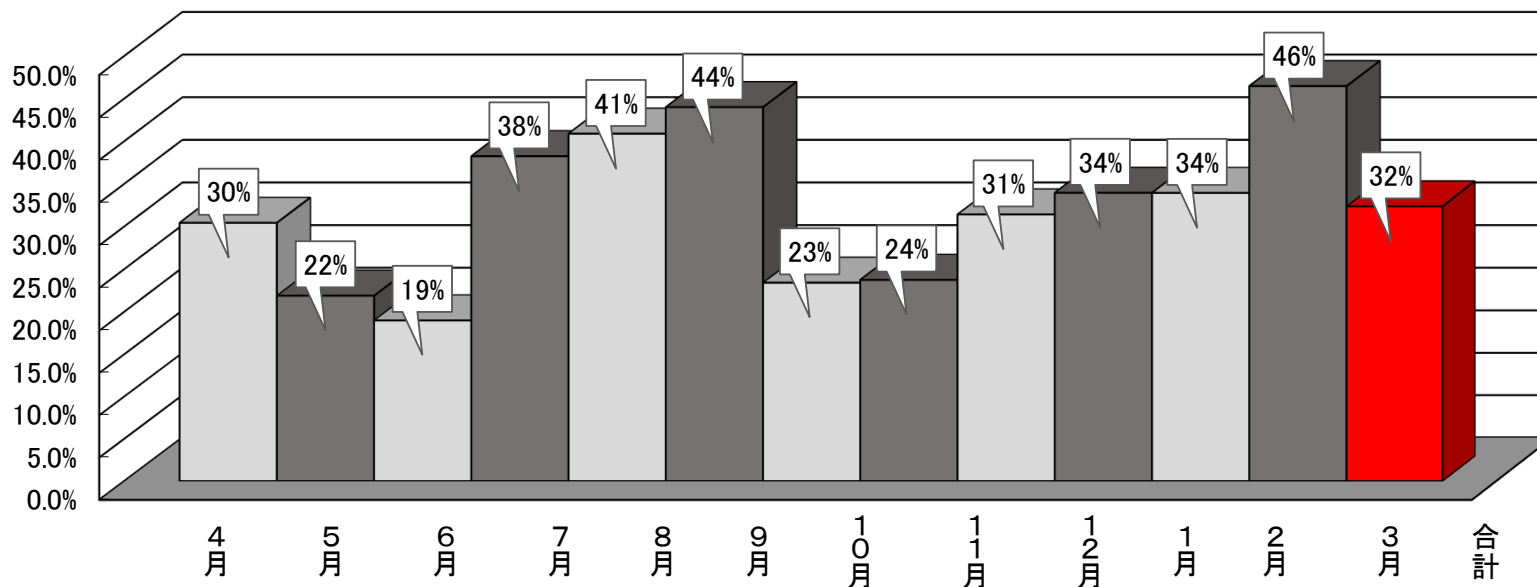
## 子どもセンターまあち

## 音楽スタジオ利用率

	4月平日	4月休日	5月平日	5月休日	6月平日	6月休日	7月平日	7月休日	8月平日	8月休日	9月平日	9月休日	
利用コマ数	41	29	25	26	39	10	51	45	70	31	47	52	
利用可能コマ数	154	76	138	95	179	79	143	108	160	87	146	79	
利用率	27%	38%	18%	27%	22%	13%	36%	42%	44%	36%	32%	66%	
項目	10月平日	10月休日	11月平日	11月休日	12月平日	12月休日	1月平日	1月休日	2月平日	2月休日	3月平日	3月休日	年間合計
利用コマ数	27	32	24	28	43	28	46	27	41	33	85	40	920
利用可能コマ数	149	103	121	98	148	78	126	89	139	79	179	90	2843
利用率	18%	31%	20%	29%	29%	36%	37%	30%	29%	42%	47%	44%	32%

### 2022年度

### 月別音楽スタジオ利用率(平日・休日合算利用率)





## 2022年度

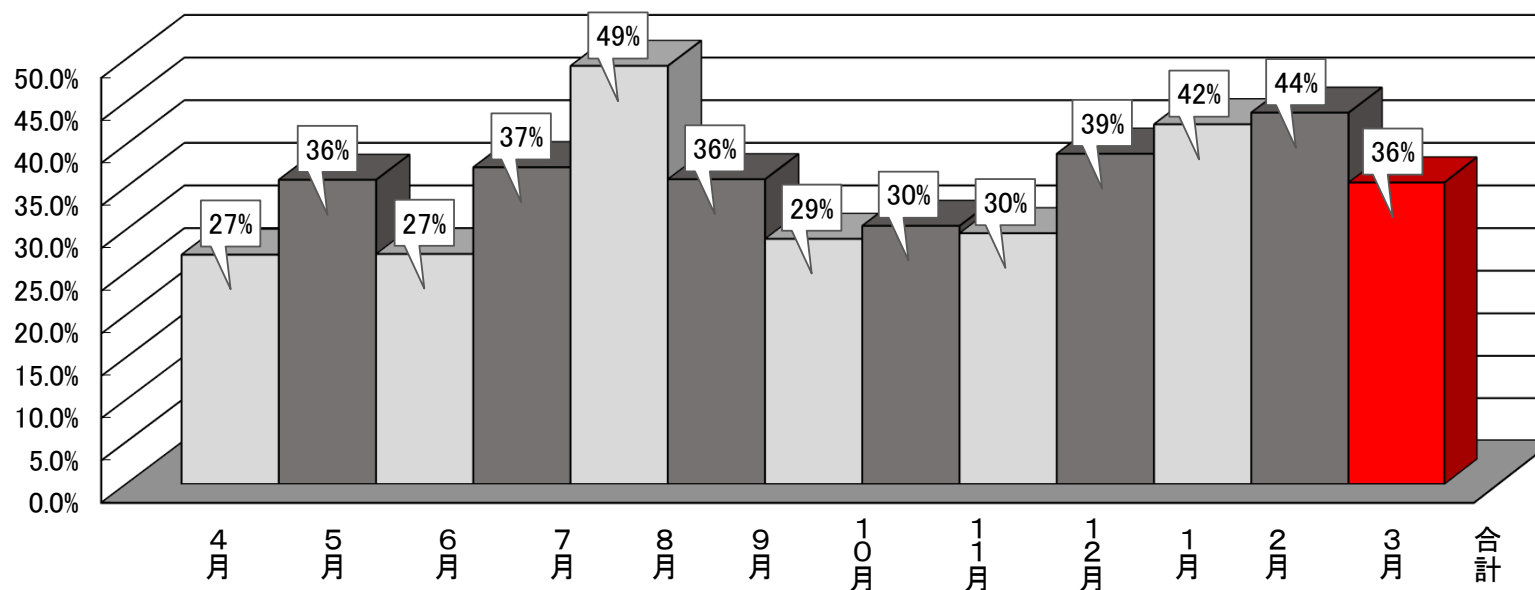
## 子どもセンターまあち

## ダンススタジオ利用率

	4月平日	4月休日	5月平日	5月休日	6月平日	6月休日	7月平日	7月休日	8月平日	8月休日	9月平日	9月休日	
利用コマ数	19	14	21	22	16	19	18	29	44	17	28	14	
利用可能コマ数	80	42	70	50	89	40	71	55	79	45	79	38	
利用率	24%	33%	30%	44%	18%	48%	25%	53%	56%	38%	35%	37%	
項目	10月平日	10月休日	11月平日	11月休日	12月平日	12月休日	1月平日	1月休日	2月平日	2月休日	3月平日	3月休日	年間合計
利用コマ数	17	20	13	22	23	11	25	17	28	19	34	25	515
利用可能コマ数	73	55	65	50	75	40	63	45	75	36	90	45	1450
利用率	23%	36%	20%	44%	31%	28%	40%	38%	37%	53%	38%	56%	36%

### 2022年度

### 月別ダンススタジオ利用率(平日・休日合算利用率)



# 子どもセンターまあち 2022年度 事業報告アルバム



トレイン展示会



親子でデイキャンプ  
In ひなた村



若者が市長と語る会  
(若者の参画事業)



応急救命講習会 I  
(若者の参画事業)

2023/03/12



## まあち6バースデー

2022/04/24



七夕飾り工作



割りばし工作  
～虫かご作り～



まなぼ～さい



子ども薬剤師体験



MARCH  
オリジナルランキング



からくりおもちゃで  
あそぼう

2022/03/11



おはなし・ぼん!



パパと遊ぼう!



簡単草木染めを体験しよう



はり絵の世界を  
楽しもう



乳幼児さん向け水遊び



まちぴよんキッズ



筆を使って  
遊んでみよう!

2023/01/06



もぐもぐクッキング



Let'sエクササイズ



木の皮から  
つくる紙すき教室



まあちで  
ストリートピアノ



子ども発達センター夏祭り出店



キッズサンデー